

みえ松阪マラソン 特別宿泊プランを提供

～松阪競輪場の選手宿舎を活用！30室が即日完売～

株式会社JPF（本社：東京都千代田区、代表取締役：渡辺俊太郎、以下「JPF」）は、2026年12月20日（日）に開催される「みえ松阪マラソン」に向けた機運醸成および参加者の宿泊先確保を目的に、JPFが包括運営する松阪競輪場（三重県松阪市）の選手宿舎「松阪スポーツセンター」を活用した特別宿泊プランを企画しました。



【競輪選手が普段利用する「選手宿舎」をランナーの宿泊施設として提供】

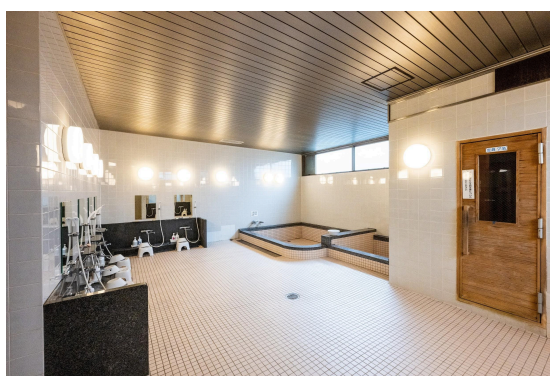
松阪スポーツセンターは、松阪競輪の開催時に、出場選手がレース期間中に宿泊する施設です。今回、「みえ松阪マラソン」に遠方から参加するランナーの皆さまの宿泊に関する負担を軽減し、前日から松阪市内に滞在して安心して大会当日を迎えていただくため、選手宿舎を活用した特別宿泊プランを企画しました。

客室は1室最大4名まで利用でき、ランナーだけでなく、ご家族やご友人と一緒に宿泊できるプランとして、マラソン前日の12月19日（土）を宿泊日とする全30室を用意しました。

先着順で申し込みを受け付けたところ、多くの皆さまからお申し込みをいただき、受付開始当日に定員に達したため、受け付けを終了しました。



松阪スポーツセンター外観



大浴場

【松阪スポーツセンターについて】

競輪開催日以外は、学校の部活動や大学のサークル、スポーツ少年団をはじめ、各種団体の合宿や研修に利用できる宿泊施設として広く開放しています。

館内には貸会議室も備えており、地域の皆さまや各種団体の会議・研修などにもご利用いただけます。

松阪スポーツセンターの詳細は以下をご覧ください

(<https://matsusaka-keirin.jp/sportscenter/>)

【競輪場を、地域スポーツを支える拠点へ】

JPFは、競輪場を競輪開催のための施設にとどめることなく、地域に開かれたスポーツ拠点として活用することを目指しています。本宿泊プランも、松阪競輪場が有する施設や資源を、地域のスポーツ振興に生かす取り組みのひとつです。

このほか、ランナーの成長を支援するためLEOMOと連携し、モーションセンサーを活用したランニングフォーム測定イベントを松阪競輪場で実施するなど、「みえ松阪マラソン」に向けた機運醸成や、ランニングへの関心・競技力の向上につながる取り組みを松阪市とともに進めています。

JPFは今後も、競輪場が有する施設や資源を生かし、地域に開かれた施設づくりと地域スポーツの振興に取り組んでまいります。

【株式会社JPFについて】

1950年、競輪やボートレースなどの公営競技におけるゴール着順判定用スリットカメラを発明。以来、多くの公営競技場において判定業務を支えてきました。2010年からは公営競技場のトータルマネジメント事業を開始し、全国各地で運営支援を展開しています。「人の成長機会を提供できる企業であり続けること」を理念に、地域活性化やサイクルスポーツ振興など、多様な取り組みを推進しています。

【メディアキット】

キット内の素材は本プレスリリースを掲載していただく場合のみ使用可能です。

https://drive.google.com/drive/folders/1uOVtjJADPUUv71_U3EZj80qfFbBQ2Yu6?usp=drive_link



【本件に関するお問い合わせ先】

松阪スポーツセンター事務局（松阪競輪場内）

TEL：0598-26-3000(センター直通)

0598-23-6111(松阪競輪場)

※休館日、競輪開催日等、都合で対応できない日や時間帯がございます。